

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】平成 23 年 6 月 16 日 (2011.6.16)

【公表番号】特表 2011-502089 (P2011-502089A)

【公表日】平成 23 年 1 月 20 日 (2011.1.20)

【年通号数】公開・登録公報 2011-003

【出願番号】特願 2010-507699 (P2010-507699)

【国際特許分類】

C 03 C 8/12 (2006.01)

C 03 C 8/14 (2006.01)

C 03 C 8/20 (2006.01)

C 04 B 35/00 (2006.01)

C 03 C 8/10 (2006.01)

【F I】

C 03 C 8/12

C 03 C 8/14

C 03 C 8/20

C 04 B 35/00 H

C 03 C 8/10

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 4 月 19 日 (2011.4.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

物品を製造する方法であって、

ガラスを含む少なくとも第 1 の複数の粒子を供給する工程であって、前記ガラスが少なくとも 2 種の異なる金属酸化物を含み、前記ガラスが T_g 及び T_x を有し、前記ガラスの前記 T_g と前記 T_x との間の差異が少なくとも 5 K であり、前記ガラスが 20 重量%未満の SiO_2 、20 重量%未満の B_2O_3 、40 重量%未満の P_2O_5 、及び 50 重量%未満の PbO を含有する、少なくとも第 1 の複数の粒子を供給する工程と、

前記ガラスを周囲気圧以下で前記 T_g 超まで加熱し、前記第 1 の複数の粒子の一部に合体させて、前記物品を供給する工程と、を含み、

前記セラミックの気孔率が 20 体積%未満である、方法。

【請求項 2】

ガラスを含むセラミック物品であって、前記ガラスが、

30 重量% ~ 55 重量%の $Re(I)_2O_3$ 、

0 重量% ~ 20 重量%の $Re(II)_2O_3$ 、

(式中、 $Re(I) = La$ 若しくは Gd 又はこれらの組み合わせ、並びに、

$Re(II) = Ce$ 、 Pr 、 Nd 、 Sm 、 Eu 、 Tb 、 Dy 、 Ho 、 Tm 、 Y 、若しくは Yb 、又はこれらの組み合わせである)、

5 重量% ~ 40 重量%の、 ZrO_2 、 TiO_2 、アルカリ金属酸化物、アルカリ土類金属酸化物、遷移金属酸化物又はこれらの組み合わせ、

0 重量% ~ 15 重量%の SiO_2 、並びに、

総じて 70 重量%を超える、 $Re(I)_2O_3$ 、 Al_2O_3 、並びに、 ZrO_2 、 Ti

Al₂O₃、アルカリ金属酸化物、及びアルカリ土類金属酸化物のうちの少なくとも１つ、を含み、

Al₂O₃は、(Re(I)₂O₃の重量% - 10重量%)未満の量で存在し、前記ガラスはT_g及びT_xを有し、前記ガラスの前記T_gと前記T_xとの間の差異が少なくとも100Kである、セラミック物品。

【請求項３】

前記セラミック物品の気孔率が20体積%未満である、請求項２に記載のセラミック物品。